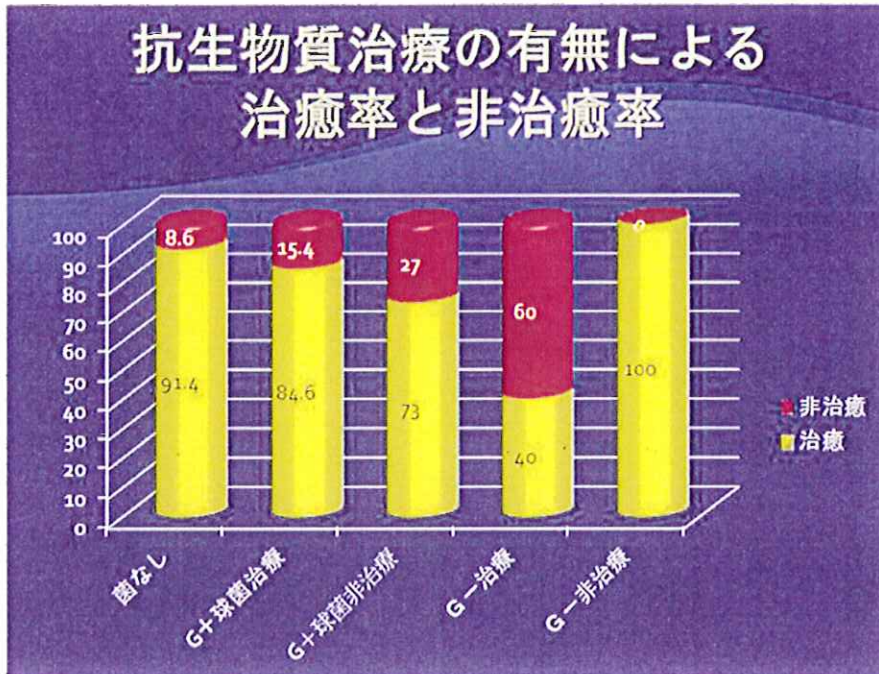


2. 農場培養 (On Farm Culture) の結果



農場培養 (以下OFC) を行ったこの農場では、異常乳の 50%以上から菌が検出できませんでしたが、菌なしの乳房は何も治療せずに 90%以上の治癒率を示しました。また、環境性ブドウ球菌や連鎖球菌などは、抗生物質の治療によって約 85%の分房が治癒しました。しかし、培養中にこれらのグラム陽性球菌が分離されながらも症状がよくなったために、抗生物質治療が行われなかった分房の治癒率は 73%に留まりました。従って、OFCにおいて、グラム陽性球菌が分離された場合は、やはり順当に抗生物質によって治療を開始したほうがよいようでした。大腸菌をはじめとするグラム陰性菌を分離して抗生物質に治療した分房の治癒率は 40%に留まり、盲乳化・慢性化ないしは廃用となっています。一方、グラム陰性菌を分離しながら一般状態がよかったために抗生剤治療を行わなかった分房はきれいに 100%治癒しました。グラム陰性菌にたいする抗生物質治療への再評価が必要のようでした。OFCによって、菌マイナイスの分房への抗生物質注入をやめることができるだけでも、価値のあるもののように思います。数件が今後このOFCをスタートさせる予定です。

黒 崎